



地域のみなさんと共に歩んできた10年を記念して行われた『ふれあい農業祭』当日は秋晴れの下、会場の北見市ファミリーランドに約1万人のご来場をいただきました。キョウメ、きたみらい各地域からの芸能発表をはじめ、ステージ企画も盛りだくさんでした。また、各グループや姉妹JAの特産品コーナー、全国の『JAみらい』出店しました。ファミリーランドの遊具も無料乗り放題で、長い列ができるほど好評でした。



10/6 開催
10周年を迎えられた事に感謝!
きたみらいふれあい農業祭

ふれあい農業祭を終えて、たくさんの笑顔に出会えて嬉しかったと共に、改めて組合員・地域の皆様のお陰で、10周年を迎えられたことに感謝しております。

また、後援いただいた北見市・訓子府町・置戸町、さらに出店いただいた皆様のご理解・ご協力のもと大盛況となりました。



今後も10周年記念事業を機に、地域の皆さんとのつながりを大切に、地域農業に取り組んでいきたいと思ひます。

6/23 開催
サッカーを通して“よい食”学ぶ!



JAグループ北海道とコンサドーレ札幌を運営する北海道フットボールクラブは、食育に関する協力協定を結んでおり、その取組の一環として全道8ヶ所で選手が「みんなのよい食親善大使」を務め、食育活動を行っています。サッカー教室を通して、普段何気なく食べている食事も、自分達の住む地域の農業などを見つめ直してもらおうものとして、10周年記念協賛事業として行いました。

サッカー教室は、現役選手から直接指導を受けられるまたとないチャンスとあって、サッカー少年団10チームから61名が集まりました。コンサドーレ札幌から、北見出身の奈良竜樹選手と宮澤裕樹選手、佐々木滋コーチが指導を行い、食育活動として、当JA主催で地産産物もち米・小豆・いちごを使った「いちご大福」作りを一緒に体験しました。サッカーを通して食の大切さや北見の農業について学ぶいい機会となりました。スポーツと食は切っても切れない関係。たくさん練習して、北見の美味しいものをたくさん食べて、未来のJリーガー目指して頑張ってください!

合併10周年

地域のみなさまと歩み続けて10年

記念事業の1年を振り返って

おかげ様で、JA合併10周年を迎えることができました。今、日本の社会・システムを揺るがすTPP、さらに食品偽装問題が噴出しています。私たちは、今後も安全・安心の負託に応え「食を支える」きたみらい農業を地域の皆さんとともに歩み続けていきます。



代表理事組合長 西川孝範

11/8 開催
感謝の集い 堀内孝雄歌謡ショー

10周年記念事業の締めくくりに行われた「組合員感謝の集い」と「堀内孝雄 歌謡ショー」感謝の集いでは10年前の8JA合併から現在に至るまで功労者に対し労をねぎらい表彰したほか、2部構成で歌謡ショーを行い、組合員や抽選でJA事業を利用していただいた皆さまに楽しんでいただきました。



感謝の集いでは当JAへの功労者39名(旧JA組合長、旧きたみらい理事・監事)1人ひとりに感謝状を手渡したほか、地域貢献活動の一環として当JAの事業エリアである北見市・訓子府町・置戸町の1市2町へ椅子を合計100台寄贈させていただきました。

また、堀内孝雄・歌謡ショーは2部構成で行われ、1部では感謝の集いの表彰者及び参加した組合員とともに楽しみ、第2部ではJA共済や貯金、燃料自動車事業を利用いただいた方、抽選で1300名を招待。巧みな話術で来場者を笑わせたり、ドラマの主題歌や「アリス」時代の歌などをポップから演歌まで幅広い曲を熱唱。堀内さんもノリノリで会場は大いに盛り上がりました。

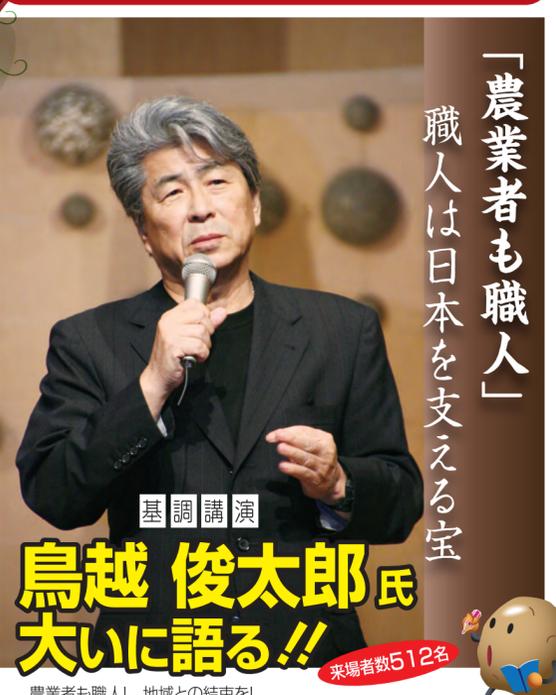
7/20 開催
96頭が美を競う 酪農祭「乳牛共進会」

北見市・訓子府町・置戸町の協賛と36団体の後援をいただき、合併10周年記念として例年の酪農共進会を衣替えて酪農祭を開催しました。例年よりもアトラクションやたのしいイベントを盛り込んで行いました。ふれあい牧場やバター作り体験は大人気で、子どもたちの笑顔でいっぱいでした!



共進会では、観客がそれぞれの部の1位を予想して投票するイベントが好評で、大人も子どもも、手塩にかけて育てられた美牛たちに夢中でした!牛のかわいさや魅力をたっぷり伝えられていたら嬉しいです。

7/10 開催
きたみらいフォーラム



基調講演
鳥越 俊太郎氏
大いに語る!!

「農業者も職人」
職人は日本を支える宝

農業者も職人! 地域との結束を! 鳥越俊太郎氏を講師に招き行われたきたみらいフォーラム。生産者、きたみらい地域の農業に携わる市場・流通・販売の関係者の方々から集まり開催されました。鳥越さんは「日本はモノ作り・職人の国。農業者の方々も言い換えれば職人。『日本を支える宝である』という強い想いがある」と語り、玉葱振興会会長の小野洋一さんからは「今まで順調な生産・販売が出来たのは生産者一人ひとり、各種関係者皆様の心構え・心意気・結束があったからこそ。後の10年、20年先においても、皆できたみらいを支え、高め合っていくことを心に刻みたい」と「生産者の想い」を語ってくださいました。当JA坂下専務は、「今後も生産者・地域が一体となって、おいしい笑顔のために前進していきたい」と力強いメッセージで締めくくりました。

